

郷さとづくり

地方分権ならぬ「地域分権」を掲げる福津市。一人ひとりがまちのためにできることを探し、団結してより良い地域づくりを目指しています。

まちは、地域が育てる

「地域主導型の地域づくりを」それが、市民参画都市・福津市が掲げるまちづくりへの思いです。平成17年1月24日、旧福岡町と旧津屋崎町が合併して生まれた福津市は、地方自治の原点である市民参画を実践。住み良い地域社会実現のために、地域づくり活動「郷づくり」を行っています。

郷づくりはまず、市内を八つの地域に分けることから始まりました。そして、それぞれが「福祉」「子育て支援」「防災・防犯」「環境」を必須テーマに自分たちの課題を挙げ、その解決策やスケジューリングなどを考える「地域づくり計画」を作成。お年寄りを見守る、若いお母さんを支えるといった活動のほか、

神興地域



自然や歴史を子どもたちに伝えていく教育も実施。冠山の登山道整備にも力を入れています。

冠山を中心に広がる山林など、豊かな自然に恵まれた神興地域は、生活利便性や交通利便性も高いことから「住み良いまち」と評判の地域です。郷づくりでは、住民同士のコミュニケーションを図るため、交流を活性化するための活動が多数行われています。また、まちの貴重な資源である

神興東地域



で掲げ、すべての住民が幸せに暮らせるまちになるよう思いやりあふれる郷づくりが進行中です。

「一人の子を粗末にする時、教育はその光を失う」という教育理念を持ち、東洋のベストロッチといわれた教育者・安部清美先生を輩出したことでも有名な地域。宅地開発によって新たなまちづくりも進んでおり、先生の理念から「一人ひとりを大切にする」心を地域の目標とし

上西郷地域



も豊富。ホタルの乱舞が見られる「ほたるの里」や運動施設のある「なまずの郷」などを有しています。

核家族化が進む中、平均世帯人員が2.98人と市内で最も多く、2世代・3世代で暮らす家族が多い地域です。また、面積が市域の27%を占め、最も広い地域でもあります。まちの南東から北西にかけては西郷川が流れ、その水源を育む森林、舎利蔵の自然林、飯盛山など自然資源

「自分たちの地域の特性を生かそう」と、独自の工夫が加えられた多数の計画が盛り込まれています。市民が自分たちの「郷」を愛し、魅力的なコミュニティを築いていく。郷づくりの活動は、未来の福津市をより豊かにしていきます。



勝浦地域



四季折々に姿を変える田園風景や勝浦海岸など、美しい風景が自慢。新原・奴山古墳群を中心に、円墳、前方後円墳およそ50基が点在しており、歴史資源にも恵まれています。盆踊りや人形浄瑠璃など、時代を経て受け継がれてきた伝統文化も多数あり、こうした地域の宝を子

どもたちに伝えていく活動が盛ん。農産物などの直売所「あんずの里市」にもぎわう豊かな地域です。

津屋崎地域



「九州の鎌倉」と呼ばれるほど美しい海や海岸線、情緒あるまち並み、ロマンあふれる歴史を持つ津屋崎地域は、これらを活用したまちづくりを目指しています。恋の浦海岸や津屋崎干潟、津屋崎古墳群には他県からの観光客も多く「癒しのあるこの環境をよりアピールしていこう」

と住民たちが力を合わせまちを盛り上げています。人と自然が一体となり共存するまちです。

宮司地域



およそ1600年の古い歴史を持ち、長さ13.5m、重さ5tもある日本一の大注連縄で有名な宮地嶽神社がある宮司地域。ここには、まちの宝を大切に、深い歴史に親しむ風土が息づいています。住民には、地域の文化やそれを次世代に伝える教育に熱心な人が多く、地域全体でまち

の資源を守り、子どもたちを育てるさまざまな活動が行われています。

福岡地域



JR福岡駅のある福岡地域は、商店街や多くの公共施設が集まる福津市の中心。交通の利便性も高く住み良いまちであり、さまざまな世代が暮らしています。中心部でありながら、福岡海岸や海岸沿いに連なる松林といった福津ならではの自然に彩られているのも特長。さらなる

生活環境の充実が求められる中、自然環境を守り育むことも課題とした郷づくりが盛んです。

福岡南地域



新JR福岡駅の誕生に伴い東口の整備が進む福岡南地域では、大規模な開発による暮らしやすさの向上に期待が高まっています。新たな住宅街もでき、古くからこの地域で暮らす住民と新しい住民とが協力し合い、次世代に向けたまちづくりを行っていくことが課題の一つ。互い

に交流を深めながら、福岡南が「福津の顔」となるよう、活発な郷づくり活動が行われています。